

請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

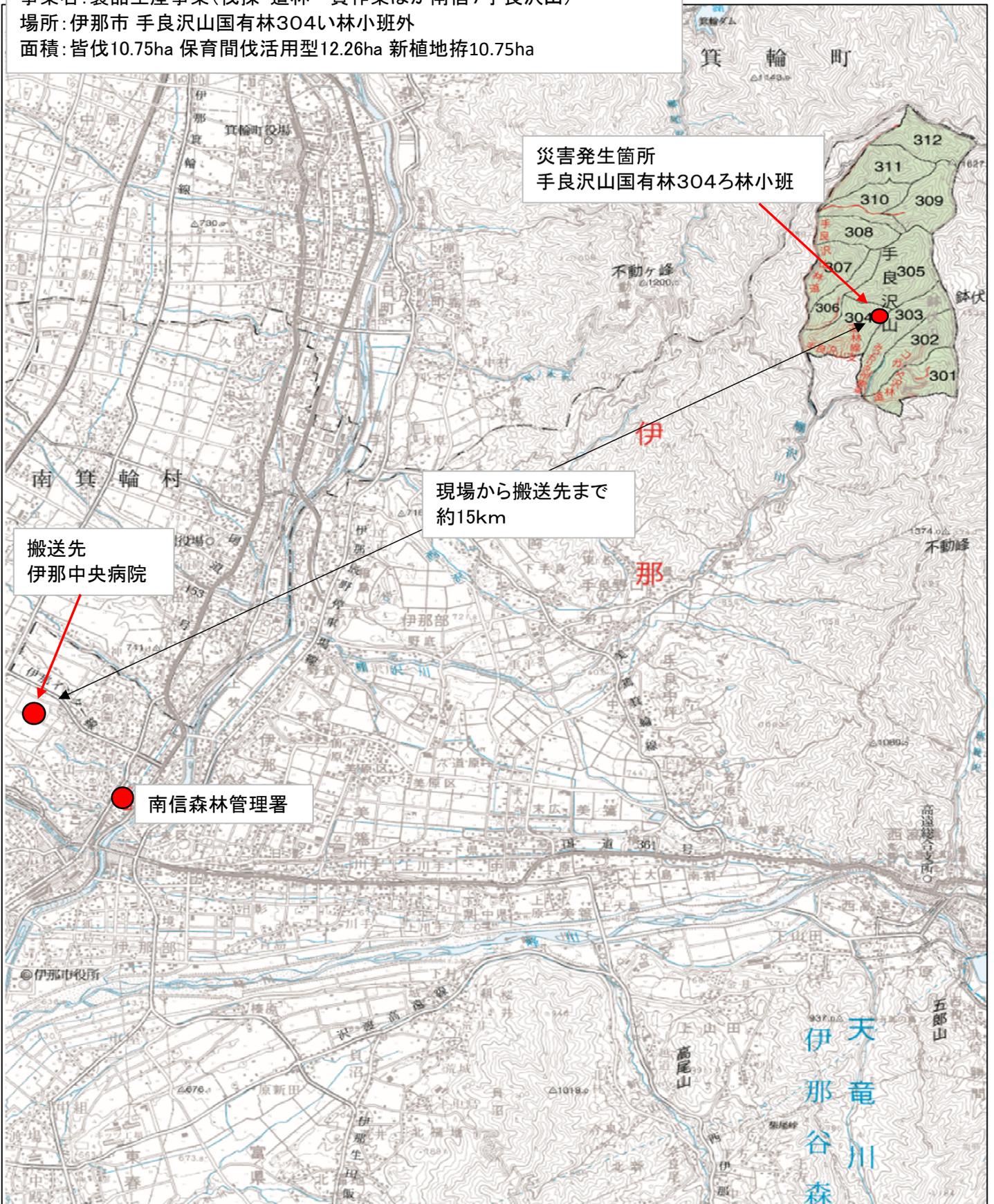
1 署 等 名	南信森林管理署
2 事業の種類	製品生産事業（伐採・造林一貫作業ほか 南信7手良沢山）
3 災害発生日時等	令和5年12月5日（火） 14時00分頃発生 怪我の程度： 左大腿骨転子部・骨幹部らせん骨折 休業見込み：3ヶ月
4 災害発生場所	長野県伊那市 手良沢山国有林304ろ林小班
5 契約相手方	有限会社高遠興産
6 事業実行事業体	同 上
7 被災者年齢等	年齢： 40 歳 性別： 男 2の事業の経験年数： 3 年 雇用区分： 常用 社会保険等加入状況：(労災)、(雇用)、(健康)、(厚生)、(林退)
8 従事作業	伐倒作業
9 災害概況	<p>当日、被災者は同僚4名（現場代理人・集材作業A、造材運材作業B、集材作業C、伐倒作業D）と伐倒作業に従事していた。</p> <p>被災者は、13時40分頃から伐倒作業を開始した。Aは集材作業の準備をしており、13時55分頃、スイングヤードへ戻ろうとした際に作業道上に被災者が倒れているのを発見した。被災者は、当該広葉樹を伐採しようと受け口をつくり、確認のため移動した際に足元が滑り作業道まで滑落し、左腰（左足付け根部分）を作業道に強打し被災したものと推測される。</p> <p>同僚Aは被災者に駆け寄り、声をかけ意識があるのを確認。自力歩行ができないとのことでAは近くにいたBに報告。すぐにC、Dにも報告（14時）。A、Dは電話通話可能場所まで徒歩で移動し、救急車を要請。会社社長、事務所へ連絡（14時29分）。Bは救急隊が入れるように林道を片付け、Cは被災者の元で待機。Dは救急車の道案内のため国有林ゲートを開け、救急隊が到着するのを待機。Aは電話通話可能場所で待機。</p> <p>救急隊が到着し、現場へ案内（15時20分）。救急車が林道へ入れないため、消防署の軽トラックで被災者を信州大学農学部手良沢山ステーションへ搬送（15時40分）。AとCが社用車で伊那中央病院へ向かった。</p> <p>伊那中央病院に16時30分頃到着、医師の診断を受け患部骨折の確認、また2か月程度の入院となる旨の連絡を受けた。（詳細は今後の検査等での判断となった。）</p>
10 その他特記すべき事項	<p>12月5日（火）伊那労働基準監督署へ報告。</p> <p>12月6日（水）早朝に社内安全会議（下請者を含む）を実施。 南信森林管理署総括森林整備官、駒ヶ根首席森林官（監督職員）による現場確認の実施。</p> <p>12月7日（木）社内職員及び下請者を含めリスクアセスメント会議を実施。</p> <p>12月12日（火）南信森林管理署次長及び監督職員による安全指導を実施。</p>

伊那労働基準監督署へ労働死傷病報告の提出（12月11日の診断書を受理を踏まえ実施）

12月13日（水）（有）高遠興産職員2名が来署、各種会議及び再発防止対策について南信森林管理署署長へ報告。署長より再発及び類似災害の防止、安全指導を実施。

災害発生箇所広域図

事業名: 製品生産事業(伐採・造林一貫作業ほか南信7手良沢山)
場所: 伊那市 手良沢山国有林304い林小班外
面積: 皆伐10.75ha 保育間伐活用型12.26ha 新植地拵10.75ha



災害発生箇所位置図

事業名: 製品生産事業(伐採・造林一貫作業ほか南信7手良沢山)

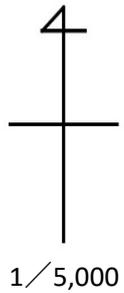
場所: 伊那市 手良沢山国有林304い林小班外

面積: 皆伐10.75ha 保育間伐活用型12.26ha 新植地拵10.75ha



災害発生箇所基本図

事業名: 製品生産事業(伐採・造林一貫作業ほか南信7手良沢山)
場所: 伊那市 手良沢山国有林304い林小班外
面積: 皆伐10.75ha 保育間伐活用型12.26ha 新植地拵10.75ha



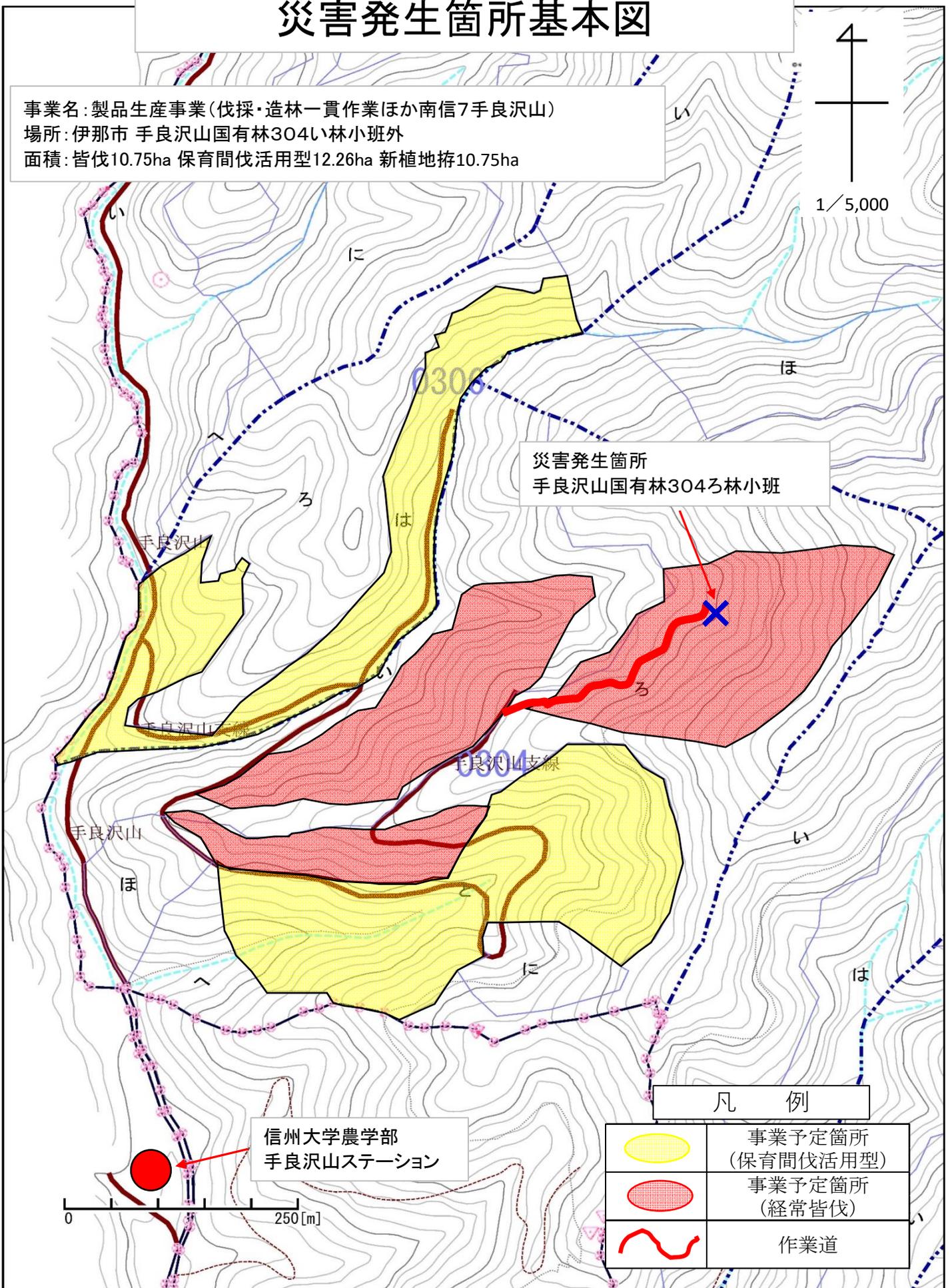
災害発生箇所
手良沢山国有林304ろ林小班

0 250[m]

信州大学農学部
手良沢山ステーション

凡 例

	事業予定箇所 (保育間伐活用型)
	事業予定箇所 (經常皆伐)
	作業道



災害発生概要写真

伐倒対象木
その他L:胸高直径40cm 樹高17m



斜距離: 9m
傾斜: 40度以上

法高(直): 2m

伐倒作業に従事、受け口の確認のため移動した際に足元が滑り滑落、その後約9m転がり、作業道に左腰部を強打し受災(発見時被災者左側は上部を向いていた。)

